

大会宣言

私たちは、愛知県豊橋市において第96回定期全国大会を開催し、この一年間の運動の総括をおこない、格差社会を是正し、労働者の働く権利の確立と生活向上を図り、核も戦争もない安心と共生の平和な社会をめざし、反動的な政治を許さず、大衆路線の基に産業別労働運動と地域運動、国際運動と連帯し組織強化し拡大する2024－25年運動方針の補強を決定した。

今、世界は軍事的緊張と経済不安が複雑に交錯する重大な局面にある。ウクライナ、イスラエル・パレスチナ、イランなど世界各地で戦火が続き、民間人を含む多数の犠牲が出ている中、平和の実現は国際社会の最優先課題である。

一方、米国では保護主義と軍拡が進行し、日本もまた、軍事費拡大や「特定利用港湾」政策により、港湾が兵站基地化する危機に直面している。

国内では物価高騰と貧富の格差拡大、労働者の権利後退がすすみ、政治腐敗や説明責任の欠如が民主主義を脅かしている。石破政権による改憲策動や軍事拡張、社会保障削減といった政策は、労働者の生活を直撃している。

国のすすめる港湾政策においては、ガントリークレーンやRTGなどの荷役機械について、本体操作の遠隔化や、オペレーターに対する操作支援などの荷役機械の生産性を向上させる技術を開発することや、国内地方港との更なる連携及び海外港湾への運営参画・業務提携等を推進し、集貨に資する国内外とのネットワークを構築するとともに経営基盤を強化することなどがうたわれている。この政策には、「体制的合理化」や「地方港置き去り」といった資本主義や大企業ありきの政策となっている。

こうしたなか、私たちは2024－25年度運動方針の補強に掲げた以下の闘争課題の実現に全力を尽くすことを確認した。

1. すべての労働者の賃金引き上げと労働条件の改善、定年延長や月給制の確立を求めるたたかい
2. 国民を苦しめる消費税の廃止と、安心して暮らせる社会保障の充実を求めるたたかい
3. 港湾・運輸産業の特性を踏まえた産別協定の強化と非正規・中小企業労働者との連帯
4. 組織拡大と活動家育成、職場討議を軸とした大衆路線の確立
5. 平和憲法を守り、憲法改悪・戦争法廃止を求める反戦平和のたたかいと、働く仲間を戦争の加害者にも被害者にもさせない、港湾の兵站基地化阻止のたたかい
6. 仲間の命を守るための労災防止、熱中症対策、健康と安全が確保された職場環境の構築

私たちは、産業別労働運動、地域共闘、国際連帯の力を最大限に生かし、すべての働く者が誇りと尊厳をもって、安心して生きられる社会の実現をめざす。

ここに、私たちは第96回定期大会の成功を確認し、全港湾の歴史と仲間に誓って、全組合員の総力を挙げてたたかい抜くことを宣言する。

2025年9月12日

全日本港湾労働組合
第96回定期全国大会